



山鋼プラントック株式会社

Sankoplantec Inc.

〒713-8103 岡山県倉敷市玉島乙島字新湊 8259-16

Tel : 086-523-6550(代表) Fax : 086-523-6551

URL : <https://www.sanko-pt.co.jp>

会社概要

創業日 : 2008年(平成20年)11月

資本金 : 10,000,000円

業務内容 : 各種設備設計製作

各種設備据付工事

国内資材・機材調達

海外資材・機材調達

海外資材・機材輸出

2D/3Dレーザー加工

各種製缶・機械加工

業務委託請負

風力発電事業・風力発電機販売

建築業許可 : 機械器具設置工事業

岡山県知事 許可(般一)第24538号

: 電気工事業 / 管工事業 / 消防施設工事業

岡山県知事 許可(般三)第24538号

電気工事業 : 登録電気工事業 岡山県知事届出 第2021-19号

工場敷地面積 : 5,652.48㎡

建屋敷地面積 : 2,287.66㎡

韓国支店 : 2F, #20, BAEYANG-DAERO 1188 BEON-GIL,

BUSAN, REPUBLIC OF KOREA

Tel : +82-(0)70-4147-7287(DIRECT)

Fax : +82-(0)51-343-2324

JFE 構内事業所 : 〒712-8074 岡山県倉敷市水島川崎通1丁目

JFE 物流ビル1階110号室

Tel : 086-440-3555

Fax : 086-440-3556

会社沿革

2008年11月 : 倉敷市玉島にて山鋼プラントック株式会社の商号で設立

2009年9月 : 同市内玉島乙島(E地区内)へ移転

2010年3月 : 資材及び機材品の海外調達(韓国)業務開始

2010年11月 : 海外調達(中国-上海)業務開始

2011年7月 : 海外調達(中国-青島・大連)業務開始

2012年11月 : 海外SV派遣業務開始

2014年3月 : 山鋼プラントック釜山事務所開設

2015年2月 : 新本社及び工場建設計画にともない同市玉島乙島

(玉島ハーバーアイランド内)にて

土地約1,700坪を取得

2015年9月 : 取得土地にて新社屋竣工にともない本社を移転

2015年9月 : 中国地方初となる、3Dレーザー加工機を導入

2015年9月 : 3DCADを導入

2017年10月 : 釜山事務所から韓国支店へ

2017年11月 : 板レーザー切断機導入

開先加工機導入

2019年6月 : ISO9001取得

風力発電業務開始

2020年2月 : 私募債2億円発行

2020年11月 : 本社工場増設

ペンディングロール導入

2023年3月 : 秋田県男鹿市にて風力発電所1号機 商業運転開始

中型風力発電事業 プランニング

Wind power generation business

倉敷市新分野チャレンジ支援事業

[中型風力発電事業の魅力]

MODEL SP330

OUTPUT POWER: 330kW



山鋼プラントック株式会社

SDGs、ESG (投資・経営) を目指す方に!

MODEL SP330
OUTPUT POWER: 330kW



- ◇企業として掲げた SDGs の目標に具体的に取り組みたいが、コストは抑えたい。
- ◇持続的な成長のために ESG 経営を早く実現したい。
- ◇ ESG 投資を行うために投資先の選定をしたいが、莫大な投資や投資回収リスクは避けたい。

山鋼プラントックは、このようなお考えの企業様、自治体等の皆さまに
中型風力発電事業を提案します。

現在、中型風力発電設備 (同出力 / 330kW) は日本国内では存在せず、今後、ニーズが高まり開発および新規参入が考えられます。

魅力

▶設置場所を確保していなくても 風力発電事業を始めることが可能

当社は自ら風力発電設備事業に参入しており、すでに SP330 中型風力発電設備を稼働している実績があります。したがって、風力発電事業をパッケージとして販売でき、さらにお客様の多大な労力とコストも節約、スムーズな事業開始を実現します。

▶事業開始の際の煩わしい手続きは一切不要

事業に適した用地に関わる手続き (用地選定、賃貸借契約、造成整地、その他諸法令に基づく手続き)、環境影響評価 (電波障害、景観問題、生態系への影響、振動や騒音等)、地域との交渉 (住民説明、個別説明)、開発に関わる手続き (開発許可申請【都市計画法】、森林開発許可申請【森林法】、その他)、電力に関わる手続き (経済産業省の事業認定、接続検討申込みなど) を当社が一括して代行し、事業開始に至るまでをひとつのプロセスとして条件をクリアした案件のみご提案いたします。

▶導入までのリードタイムが短い

大型風力発電設備は最短 5 年に比べ、中型風力発電設備は最短 1 年と短いため、導入までのリードタイムは短期間となります。

▶投資対回収のバランスが良い

中型風力発電設備を大型風力発電設備または、小型風力発電設備の導入と比較しました。

- ・大型風力発電設備は設備投資額が多額で、発電量は多いが投資回収期間が長い。
- ・小型風力発電設備は設備投資額が少額であるが、発電量が少なく、投資回収期間が長い。(発電量は、中型発電設備の 1/15 ~ 1/20 程度)
- ・中型風力発電設備は設備投資額に対し発電量が多く、投資回収期間が短い。

▶売電収入スキームと自家消費対応システム、 さらにオフサイト PPA へ

お客様は直接電力会社と電力需給契約を締結し、事業開始後は電力会社から指定の口座に売電金額が振り込まれます。売電単価も下がる傾向のため、今後は企業様の既設の電気設備 (高圧) に接続して自家消費として運用するシステムやオフサイト PPA にも対応しております。

▶GX (グリーントランスフォーメーション) 実現に向けて

第 28 回気候変動枠組条約締約国会議 (COP28) では、再生エネを 2030 年までに 3 倍に拡大させる目標や、エネルギー効率改善を倍増させる誓約に 118 カ国が賛同。日本からは 2050 年ネット・ゼロの達成、全温室効果ガス総量削減目標の設定及び 2025 年までの世界の排出量ピークアウトの必要性を訴えました。

国内でも GX 実現に向けた基本方針として、エネルギー安定供給の確保に向け、徹底した省エネに加え、エネルギー自給率の向上に資する脱炭素電源への転換を進めることと、その実現に向け、大胆な先行投資支援、GX 投資先行インセンティブ、成長志向型カーボンライジング構想の実現・実行を行うことを 2023 年に閣議決定し取り組んでいます。

▶FIP 制度は 2022 年 4 月から開始

FIP 制度は、FIT 制度の固定価格買取ではなく、再エネ発電事業者が卸市場などで売電したとき、その売電価格に対して一定のプレミアム (補助額) を上乗せすることで再エネ導入を促進します。プレミアムの上乗せやバランスングコストなどの手当ても考慮されていることから、これらをインセンティブにして、再エネ発電事業者にとどまらず、新たなビジネスの創出やさらなる再エネ導入が進むことが期待されています。

▶当社自身による取り組み

山鋼プラントックでは、環境への配慮・カーボンニュートラル実現に向かう SDGs 目標への取り組み、さらには長期に渡る持続的な成長のための ESG 投資・ESG 経営にも貢献する「中型風力発電システム」を自ら実証。予測値ではなく、実測値としての運用実績を開示。

2023 年 3 月より、秋田県男鹿市にて自社による商業運転を開始しました。

▶設置して終わりではない、 20 年間のメンテナンスパッケージ

風力発電設備は、20 年間の長きにわたり安心・安全に機器が稼働するためには、専門家によるメンテナンスが不可欠です。本事業パッケージには、20 年間のメンテナンスパッケージプランをご用意いたしました。メンテナンスパッケージには、点検等専門家による 20 年間のメンテナンスを実施させていただきます。(※ 5 年毎の更新)

当社では中型風力発電設備のアセンブリメーカーとして製作・輸送・設置・運用・モニタリング・メンテナンスのワンストップ対応が可能

SP330 中型風力発電システム

□小型機に比べて高効率かつ大発電量であり、大型機では建設困難な場所や系統接続に制限がある場合にも展開しやすい中型設備はこれからの日本の風力発電環境に好適

□永久磁石同期発電機によるダイレクト駆動方式。ギヤレス構造はシンプルで部品点数が少なく保守性に優れ、エネルギー効率や静粛性にも寄与。3.5 回転/分と低速・静音で風切り音や翼振動が少ない

将来性

低リスク

POINT!

当社は、中型風力発電設備のアセンブリメーカーとして、製作・輸送・設置・機械加工・電気工事・海上輸送用パース等の設備と技術者を自社保有または活用しており、多くの工程で内部の人材の活用が可能です。また、自社において中型風力発電設備を導入し稼働することで、その経験と実績からノウハウを活用することができます。